

# 西国三十三ヶ所 札所巡り



五木寛之の百寺巡礼を回っていて、四国八十八ヶ所巡礼を知り、一応形だけは結願した。

次の目標は、と尋ねてくれる人もいて、父母や長兄の墓参に行った時、

兄達や義姉が西国三十三ヶ所巡りを終えているのを知った。

次のプロジェクトに据えた。これはゆっくりと回りたいと思う。既に、68歳になった。

順不同で巡っている間に、三兄や義姉も逝った。2019.9.29 琵琶湖宝厳寺で結願。

1	青岸渡寺	2	金剛宝寺 (紀三井寺)	3	粉河寺	4	施福寺 (須尾寺)	5	葛井寺	6	南法華寺 (海坂寺)	7	岡寺 (龜塚寺)	8	長谷寺	9	南円堂	10	三室戸寺
11	上醍醐 准胝堂 (醍醐寺)	12	正法寺 (醍醐寺)	13	石山寺	14	三井寺 (園城寺)	15	今熊野観音寺	16	清水寺	17	六波羅蜜寺	18	六角堂 頂法寺	19	草堂 行願寺	20	善峯寺
21	穴太寺	22	総持寺	23	勝尾寺	24	中山寺	25	播州清水寺	26	一乗寺	27	園教寺	28	成相寺	29	松尾寺	30	宝厳寺
31	長命寺	32	観音正寺	33	華厳寺			番外	法起院	番外	元慶寺	番外	花山院菩提寺	番外	補陀洛山寺				
			和歌山県		大阪府		奈良県		京都府		兵庫県		岐阜県		滋賀県		太字は過去参拝		赤太字は納経済

### 37. 第三十番 宝巖寺 (ほうごんじ)

- (1) 住所： 滋賀県長浜市早崎町 1664
- (2) 真言宗豊山派 巖金山 宝巖寺
- (3) 本尊： 千手千眼観世音菩薩 (宝巖寺本尊：弁才天)
- (4) 西国三十三ヶ所： 第三十番
- (5) 御詠歌： 月も日も 波間に浮かぶ 竹生島 船に宝を 積むこちして
- (6) 参拝日： 2019年9月29日
- (7) 写真：



本堂へ上る石段



本堂 (本尊：弁財天)



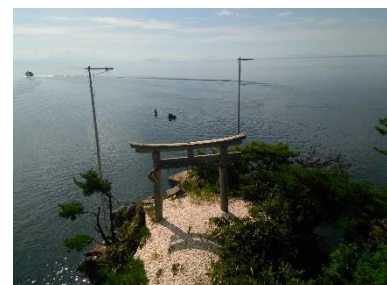
三重塔(2000年再建)



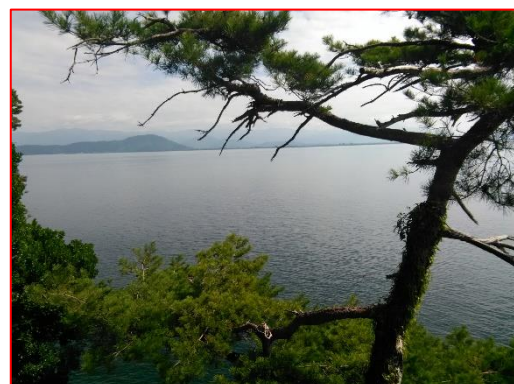
観音堂と神社を結ぶ船廊下



都久夫須麻神社



拝所から「かわらけ投げ」



竹生島から長浜方面を臨む

- (8) 付記：
  - － 長浜から好天の竹生島へ。琵琶湖クルーズ。
  - － 2016年6月にスタートした三十三か所巡礼。番外四寺を加えて、3年3か月かかった。
  - － 美しい日本の自然の中の寺が多い。心が洗われる。
  - － 全ての観音様が拝めれば良いのだけれど・・・
  - － この3年間の変化を想う。当然だけれど多くの変化。

### 36. 番外 元慶寺 (がんけいじ)

- (1) 住所： 京都市山科区北花山河原町 13
- (2) 天台宗 華頂山 元慶寺 (花山寺)
- (3) 本尊： 薬師如来

- (4) 西国三十三ヶ所： 番外  
 (5) 御詠歌： 待てといわばいともかしこし花山（はなやま）にしばしと啼（な）かん鳥の音もがな  
 (6) 参拝日： 2019年7月27日  
 (7) 写真：



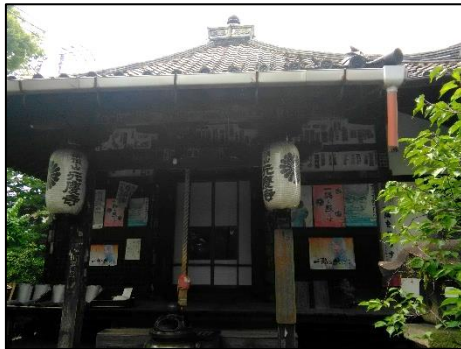
山門



山門からの石畳



本堂正面



小さな本堂



本堂前から山門 緑が美しい

- (8) 付記：  
 — 京都山科の小さなお寺。花山天皇がこの寺で出家し花山法皇となったとされている。  
 — 世話になった義姉が亡くなった。葬儀の帰り、どこかお寺によりたいと。祈る。  
 — 門と本堂のみ、と言った小さなお寺。せめて門の梵天と帝釈天があれば良いのに。  
 — お参りが終わったとたん、雨。でも、緑が心地良かった。

### 35. 番外 花山院菩提寺（かざんいんぼだいじ）

- (1) 住所： 兵庫県三田市尼寺352番地  
 (2) 真言宗 東光山 花山院菩提寺  
 (3) 本尊： 薬師瑠璃光如来  
 (4) 西国三十三ヶ所： 番外  
 (5) 御詠歌： 有馬富士 麓の霧は 海に似て 波かと聞けば 小野の松風  
 (6) 参拝日： 2019年7月20日  
 (7) 写真：



山門



本堂



薬師堂



薬師堂内陣



加護の木



七地蔵尊



弁天池  
睡蓮

(8) 付記：

- 三十三か所巡りも残りわずか。番外の花山院へ。梅雨の季節だが何とか。
- 大変な山の中。歩きたかったが諦めた。バス停からでも歩く人はまれ。
- 「番外」といえども参拝者は多い様子。タクシーで行っても道路整備費必要。

### 34. 第三十二番 観音正寺 (かんのんしょうじ)

- (1) 住所： 滋賀県近江八幡市安土町石寺2番地
- (2) 天台宗系単立 織山 (きぬがささん) 観音正寺
- (3) 本尊： 千手千眼観世音菩薩
- (4) 西国三十三ヶ所： 第三十二番
- (5) 御詠歌： あなとうと 導きたまえ観音寺 遠き国より 運ぶ歩みを
- (6) 参拝日： 2019年4月27日
- (7) 写真：



入口 (仁王像)



本堂



本堂正面



眼前に近江平野



本堂横の地蔵尊など

(8) 付記：

- － 歴史のある寺のようだが何度も焼失。現在の本堂は平成 16 年再建。本尊千手観音坐像も新たに作られた。
- － 三十三か所に選ばれていると、これ程の価値があるとも言える。
- － 雨がぱらついたらと思えば、青空。運よく降られずに回る。

### 33. 第三十一番 長命寺 (ちょうめいじ)

- (1) 住所： 滋賀県近江八幡市長命寺町 157 番地
- (2) 天台宗系単立 姨綺耶山 (いきやさん) 長命寺
- (3) 本尊： 千手十一面聖観世音菩薩三尊一体
- (4) 西国三十三ヶ所： 第三十一番
- (5) 御詠歌： 八千年や 柳に長き 命寺運ぶ歩みの かざしなるらん
- (6) 参拝日： 2019 年 4 月 27 日
- (7) 写真：



門



本堂 (重文)



石段 (808 段)



三重塔



本堂から臨む琵琶湖

(8) 付記：

- － 四国からの帰途、近江八幡に立ち寄り。二寺にお参りするだけ。肌寒い、でも境内では好天。
- － 近江平野にいくつかの山。その中の一つ。安土城跡も近い。遠くからも見える山の中の寺。
- － 千手観音、十一面観音、聖観音の3体が本尊。本堂には三体が並ぶ。

### 3 2. 第十四番 園城寺 (おんじょうじ) [ 三井寺 (みいでら) ]

(1) 住所： 滋賀県大津市園城寺町 246

(2) 天台寺門宗 (総本山) 長等山 三井寺 (園城寺)

(3) 本尊： 如意輪観世音菩薩

(4) 西国三十三ヶ所： 第十四番

(5) 御詠歌： いで入るや 波間の月を 三井寺の 鐘のひびきに あくる湖

(6) 参拝日： 2019年1月26日

(7) 写真：



仁王門



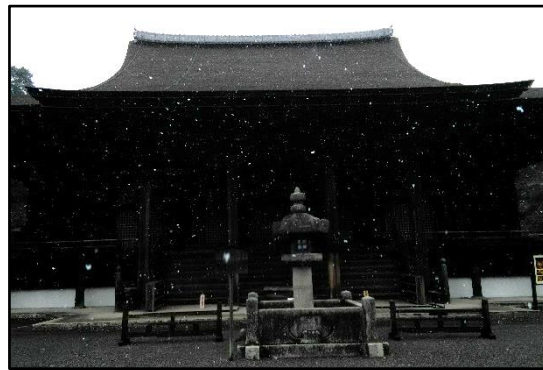
仁王門から金堂へ



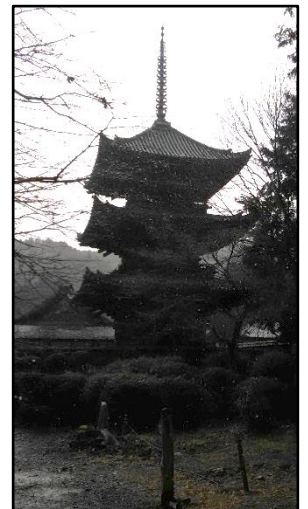
金堂 (国宝)



三井の晩鐘・屋根に雪



金堂に雪 (本尊は弥勒仏)



三重塔



観音堂への石段



観音堂

(8) 付記：

- － 荒れ模様の天気予報で、急遽寄り易い三井寺へ。やはり雪。でも雪景色が良かった。
- － 参拝者も少なく静か。以前来たことはあったが、全く異なる印象。でも歴史を感じる大寺。

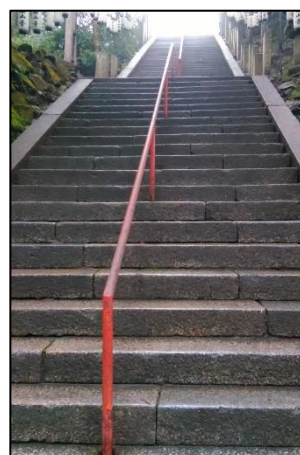
- 近江八景でも「三井の晩鐘」は特に有名。雪景色に映える鐘の音。
- 観音巡りの観音堂は初めて。別寺のような印象。
- 帰りはJR 大津まで歩いた。商店街はひっそり。

### 3 1. 第十三番 石山寺 (いしやまでら)

- (1) 住所： 滋賀県大津市石山寺1丁目1-1
- (2) 東寺真言宗 石光山 石山寺
- (3) 本尊： 如意輪観世音菩薩
- (4) 西国三十三ヶ所： 第十三番
- (5) 御詠歌： 後の世を 願うところは かるくとも ほとけの誓い おもき石山
- (6) 参拝日： 2018年12月22日
- (7) 写真：



東大門



本堂への石段



硅灰石 (天然記念物) と多宝塔



本堂(国宝)



源氏の間 (紫式部)

- (8) 付記：
  - はじめは予定していなかったが、岩間寺から帰り路途上。
  - 入社時以降、何度か訪れた寺。何度来ても迫力ある大寺。真言宗が意外。
  - 苔生した硅灰石が良い。
  - 「湖舟」でしじみ釜飯。美味しかった。

### 3 0. 第十二番 正法寺 (しょうほうじ) [岩間寺 (いわまでら)]

- (1) 住所： 滋賀県大津市石山内畑町82
- (2) 真言宗醍醐派 岩間山 正法寺
- (3) 本尊： 千手観世音菩薩
- (4) 西国三十三ヶ所： 第十二番

(5) 御詠歌： みなかみは いづくなるらん いわまでら きしうつなみは まつかぜのおと

(6) 参拝日： 2018年12月22日

(7) 写真：



伽藍 (大師堂から本堂)



本堂



不動堂



大師堂



観音堂

(8) 付記：

- － 標高455m。意外な程山奥。成程、これなら上醍醐からの巡礼コース。
- － 京都からレンタカー、ナビが意外な細道を教える。高速を選べばもっと早かった。
- － こんな山奥なのに参拝者多い。入山料もしっかり。
- － もう年の瀬。2018年中の結願ならず。

## 29. 第二十八番 成相寺 (なりあいじ)

(1) 住所： 京都府宮津市成相寺 339

(2) 真言宗単立 成相山 成相寺

(3) 本尊： 聖観世音菩薩

(4) 西国三十三ヶ所： 第二十八番

(5) 御詠歌： 波の音 松のひびきも 成相の 風ふきわたす 天の橋立

(6) 参拝日： 2018年10月27日

(7) 写真：



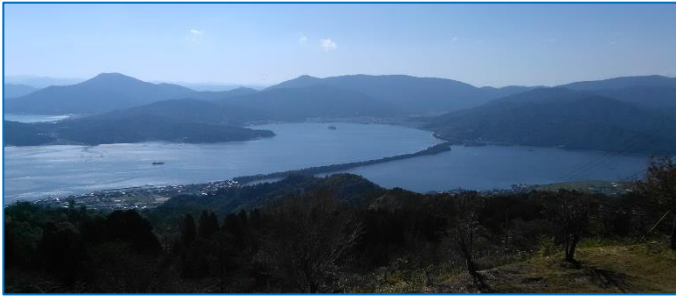
駐車場から上る



本堂正面



本堂内 真向の龍



成相山のパノラマ展望所から天橋立を望む 好天！！



本堂

(8) 付記：

- ー 日本三景の一つ天の橋立に近い鼓ヶ岳の中腹。ケーブルカールートもある。
- ー 久しぶりのレンタカードライブ。24hrで4寺を巡った。北陸のお寺も良い。
- ー 前回天橋立を訪れたのは半世紀前のこと、その時もこの寺はあったんだ、と妙な感覚。

## 28. 第二十九番 松尾寺（まつのおでら）

(1) 住所： 京都府舞鶴市松尾 532

(2) 真言宗醍醐派 青葉山 松尾寺

(3) 本尊： 馬頭観世音菩薩

(4) 西国三十三ヶ所： 第二十九番

(5) 御詠歌： そのかみは 幾世経ぬらん 便りをば 千歳もここに 松の尾の寺

(6) 参拝日： 2018年10月27日

(7) 写真：



仁王門



本堂



本堂横の檜、一直線。

(8) 付記：

- ー 西国三十三ヶ所も残り少なくなってきた。今回は北陸地方へ。小浜で百寺巡礼の明通寺と神宮寺を訪ねて舞鶴へ。
- ー 本尊、馬頭観音は珍しい。
- ー 舞鶴市が寂れて見えた。歴史もあるし、お寺も多いし。何となく残念。
- ー 秋近し(?)、木々も色づく。



本堂から仁王門、紅葉。

## 27. 第四番 施福寺 (せふくじ)

- (1) 住所： 大阪府和泉市槇尾山町 136
- (2) 天台宗 槇尾山 施福寺 (槇尾寺)
- (3) 本尊： 十一面千手千眼観世音菩薩 (札所ご本尊)、 (本尊：弥勒菩薩)
- (4) 西国三十三ヶ所： 第四番
- (5) 御詠歌： 深山路や 檜原松原 わけゆけば 巻の尾寺に 駒ぞいさめる
- (6) 参拝日： 2018年9月1日
- (7) 写真：



駐車場から歩いて仁王門



本堂までの参道、約30分、登山に近い



本堂 (内部の仏像が素晴らしい)



- (8) 付記：
  - 昔岸和田に住んだ。来たことがあるように思うが覚え無し。
  - 意外なまでの登山。本堂は山の中。
  - 寺の本尊の弥勒菩薩は大きい。札所ご本尊の十一面観音は美しい。
  - 御朱印を書いてくれる人も毎日が登山。でも、心を穏やかにしてくれるような優しい会話。
  - 朝は雷と雨。無理かと思ったけれど気持ちよくお参り。
  - ナビを信用すると、細い裏道へ。Uターンの知らせで助けられる。

## 26. 第十番 三室戸寺 (みむろとじ)

- (1) 住所： 京都府宇治市菟道滋賀谷 21
- (2) 本山修験宗 (別格本山) 明星山 三室戸寺
- (3) 本尊： 千手観世音菩薩
- (4) 西国三十三ヶ所： 第十番

(5) 御詠歌： 夜もすがら 月を三室戸 わけゆけば 宇治の川瀬に 立つは白波

(6) 参拝日： 2018年7月1日

(7) 写真：



山門



アジサイ祭り継続中



三重塔



境内には多くの人



本堂の偉容



蓮の花も咲き始めた

(8) 付記：

- JR宇治駅からタクシー。あじさい祭りが続いていると多くの人出。まだよく咲いていた。
- 昔一度アジサイを見に来た。歩いていると思出す。
- 「花の三室戸」とか、季節ごとに花で人を呼ぶ。本堂前のハスも咲き始めていた。
- 宇治の街でも沢山の外国人。嬉しいことではあるけれど、ゆっくりしたい日本人にとっては・・・

## 25. 第十一番 上醍醐准胝堂 (かみだいごじゅんていどう)

(1) 住所： 京都市伏見区醍醐東大路町22

(2) 真言宗醍醐派 (総本山) 深雪山 上醍醐 准胝堂 (醍醐寺)

(3) 本尊： 准胝観世音菩薩

(4) 西国三十三ヶ所： 第十一番

(5) 御詠歌： 逆縁も もらさで救う 願なれば 准胝堂は たのもしきかな

(6) 参拝日： 2018年6月30日

(7) 写真：



下醍醐三法院唐門



下醍醐仁王門



醍醐寺金堂



下醍醐五重塔



下醍醐 観音寺 (今はここで納経)



上醍醐への登山道



途中にある祠 (水場)



上醍醐五大堂

(8) 付記：

- － 御朱印を貰うだけなら下醍醐寺観音堂。でもそもそも第十一番は「上醍醐」。その認識が薄く、着いてしまっ  
てから上醍醐に参らなくては、と。普通の革靴で登山。
- － 上醍醐まで約一時間の登山。遠かった。汗ビショリ。でもお参りして良かった。
- － せっかく上ったのについ写真撮るのをぬかった。国宝薬師堂、醍醐水場など。疲れたか。
- － 下り路になって雲行きが怪しく。降りたところで強い俄雨。登山を諦めた女性が車で地下鉄まで送ってくれ  
た。これは有難かった。
- － 結局、三宝院の庭とか、霊宝館の寺宝など見逃した。もう一回来なくては。

24. 第十五番 今熊野観音寺 (いまくまのかんのんじ)

- (1) 住所： 京都市東山区泉涌寺山内町 32
- (2) 真言宗泉涌寺派 新那智山 今熊野観音寺
- (3) 本尊： 十一面観世音菩薩
- (4) 西国三十三ヶ所： 第十五番
- (5) 御詠歌： 昔より 立つとも知らぬ 今熊野 ほとけの誓い あらたなりけり
- (6) 参拝日： 2018年6月30日
- (7) 写真：



鳥居橋



子護大師



本堂

(8) 付記：

- 東福寺で降りて泉涌寺の中。予想以上にうっそう。
- 空海像が迎えてくれる。真言宗泉涌寺派。
- ご主人を亡くして定期的にお墓まりのご婦人と語る。
- 熊野権現出現の伝説地でもある今熊野の地を紀州熊野の観音霊場になぞらえて、社殿を山麓に造営。
- 四国出張の帰り、京都で少しまとめてと。でも意外に歩く。



大師堂とぼけ封じ観音

### 23. 第三番 粉河寺（こがわでら）

- (1) 住所： 和歌山県紀の川市粉河 2787
- (2) 粉河観音宗（総本山）風猛山 粉河寺
- (3) 本尊： 千手千眼観世音菩薩
- (4) 西国三十三ヶ所： 第三番
- (5) 御詠歌： 父母の 恵みも深き 粉河寺 ほとけの誓ひ たのもしの身や
- (6) 参拝日： 2018年4月29日
- (7) 写真：



大門



中門



仏足石と願海上人石碑



前庭石庭



豪華本堂

(8) 付記：

- JR 和歌山線、紀ノ川沿いの平地に広がる大きな境内。
- 本尊は見えないが本堂内には多くの仏像が。
- 丁度、薬師堂の特別公開中。愛らしいサイズの「おやくしさん」。特別御朱印も。

一 百寺巡礼と西国三十三ヶ所に重複して。好天の下、ゆっくり紀伊の国を歩いた。

## 22. 第二番 金剛宝寺 (こんごうほうじ) {紀三井寺 (きみいでら)}

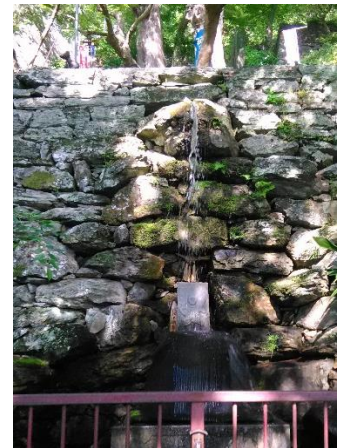
- (1) 住所： 和歌山県和歌山市紀三井寺 1201
- (2) 救世観音宗 (総本山) 紀三井山 金剛宝寺 (護国院)
- (3) 本尊： 十一面観世音菩薩
- (4) 西国三十三ヶ所： 第二番
- (5) 御詠歌： ふるさとを はるばるここに 紀三井寺 花の都も 近くなるらん
- (6) 参拝日： 2018年4月28日
- (7) 写真：



楼門



結縁坂 (231段)



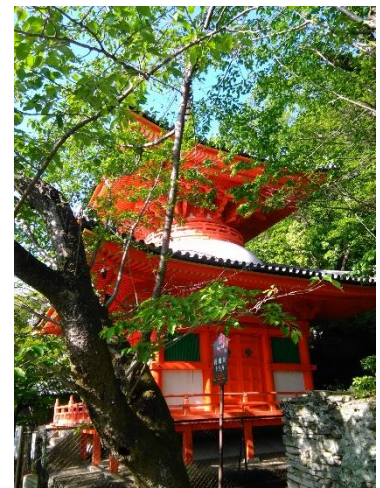
三井水 (さんせんすい)



本堂



本堂正面



多宝塔



仏殿内大千手十一面観世音菩薩像



仏殿3階から和歌の浦方面を臨む

(8) 付記：

- － 紀三井寺で有名。桜の名所。紀勢線から山中に良く見える。200 段以上の階段をただ、真っすぐ。
- － 新しい仏殿が凄い。寄木立像としては日本一。黄金色に輝く。どんな仏像もできた時はこんなに輝いていたのか。神々しさがある。
- － さわやかな春の日差しの中を歩く。石段で汗。

## 21. 第五番 葛井寺 (ふじいでら)

- (1) 住所： 大阪府藤井寺市藤井寺1丁目  
(2) 真言宗御室派 紫雲山 葛井寺  
(3) 本尊： 十一面千手千眼観世音菩薩  
(4) 西国三十三ヶ所： 第五番  
(5) 御詠歌： 参るより 頼みをかくる 葛井寺 花のうてなに 紫の雲  
(6) 参拝日： 2018年3月31日  
(7) 写真：



南大門



本堂



桜満開の日



専心龍乗観音



釣鐘堂

(8) 付記：

- － 藤井寺駅の近く。葛井寺でふじいでらとは読めない。天王寺からこんなに近いとは。
- － 本尊の十一面千手千眼観世音菩薩は珍しい。毎月18日に開帳。
- － 四国の帰りに立ち寄る。桜満開の春。歩いているだけで心地よい。

## 20. 番外 補陀洛山寺 (ふだらくさんじ)

- (1) 住所： 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町大字浜の宮 348
- (2) 天台宗 熊野山 補陀洛山寺
- (3) 本尊： 三貌十一面千手千眼観音
- (4) 西国三十三ヶ所： 番外
- (5) 参拝日： 2018年2月3日
- (6) 写真：



美しい本堂



本堂



補陀落渡海船 (恐ろしい伝説)



隣には熊野三所大神社

- (7) 付記：
  - ー 那智山から降りて那智駅の近く。五木寛之も紹介した面白いお寺。
  - ー 死ぬために出航した渡海船の言い伝え。多くの僧侶が海で命を落とした。
  - ー 余り広くは紹介されていないが寺側から番外として「御朱印」のプロポーズ。やはり、巡礼に選ばれている寺とない寺では差があるのかなと思った。例え 300 円でも巡礼者全てを対象にすれば馬鹿にならない。
  - ー 確かに巡礼の感はこの方が良い。ひっそりと、でも多くの伝説も保ちながら。

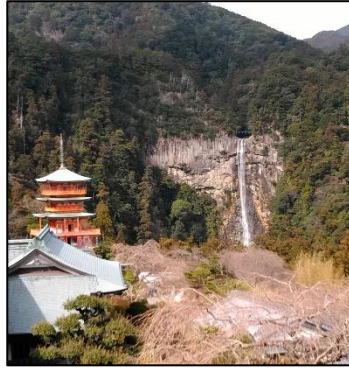
## 19. 第一番 青岸渡寺 (せいがんとじ)

- (1) 住所： 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町那智山 8 番地
- (2) 天台宗 那智山 青岸渡寺
- (3) 本尊： 如意輪観世音菩薩
- (4) 西国三十三ヶ所： 第一番
- (5) 御詠歌： 補陀洛や 岸打つ波は 三熊野の 那智のお山に ひびく滝津瀬
- (6) 参拝日： 2018年2月3日

(7) 写真:



本堂 (今日は節分)



三重塔と那智の滝



熊野古道の一部

(8) 付記:

- 四国からの帰り道。行けるかどうか。紀伊勝浦まで。
- 初めての那智の滝。高低差はあるが水量はやや少ない感。
- 那智大社との神仏習合。歴史の重みはある。
- 神仏習合と大自然の混淆と。
- ここに来たらもっと自分の足で歩きたい、歩かねば。



世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の一部

## 18. 第二十一番 穴太寺 (あなおじ)

(1) 住所: 京都府亀岡市曾我部町穴太東辻 46

(2) 天台宗 菩提山 穴太寺

(3) 本尊: 聖観世音菩薩

(4) 西国三十三ヶ所: 第二十一番

(5) 御詠歌: かかる世に 生まれあふ身の あな憂やと 思はで頼め 十声一声

(6) 参拝日: 2017年12月2日

(7) 写真:



仁王門



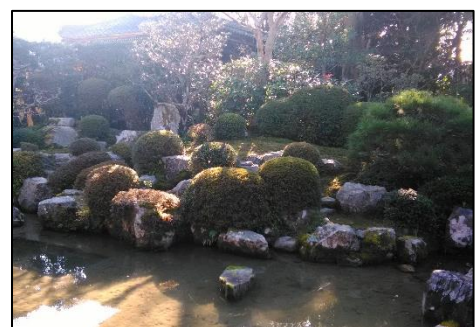
本堂



多宝塔



釈迦涅槃像 良くない部分に触る



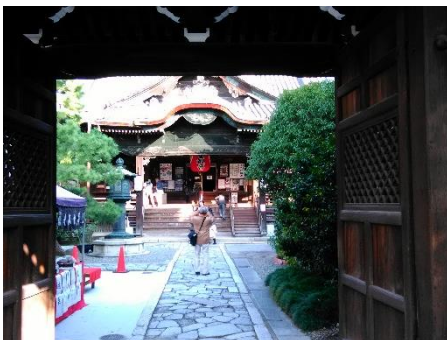
多宝塔を借景とした庭園

(8) 付記：

- － 高松からの帰り道に立ち寄る。意外なまでに近い。亀岡は今や京都のベッドタウン。静かな町。
- － もっと山の中かと思ったら街中の寺、時折参拝客、程度。秋の良い一日。
- － 本尊聖観音菩薩は、秘仏だからと思っていたが、調べてみると盗難にあったまままだ見つかっていないとか。
- － 京都は秋の人込み、それに比べると亀岡はゆったり。円山応挙ゆかりの金剛寺（応挙寺）にも立ち寄る。

## 17. 第十九番 草堂行願寺（こうどうぎょうがんじ）

- (1) 住所： 京都市中京区寺町通竹屋町上ル行願寺門前町
- (2) 天台宗 霊麁山 草堂 行願寺
- (3) 本尊： 千手観世音菩薩
- (4) 西国三十三ヶ所： 第十九番
- (5) 御詠歌： 花を見て いまは望みも 草堂の 庭の千草も 盛りなるらん
- (6) 参拝日： 2017年11月3日
- (7) 写真：



寺町通側から



本堂



念仏が聞こえそう

(8) 付記：

- － 寺町通りのいくつかの中で何故ここが三十三か所の一寺になっているのか分からない。
- － 行円上人の鹿革伝説の力が大きいのか。
- － 「こうどう」は読めない。
- － さすがにここは参拝者も多くはない。巡礼者が主となる。四国の寺々を思い出した。
- － 一日で4寺も回った。久しぶりのこと。何かご加護があるだろうか。好天は最高のプレゼント。

## 16. 第十六番 清水寺（きよみずでら）

- (1) 住所： 京都市東山区清水1丁目294
- (2) 北法相宗大本山 音羽山 清水寺
- (3) 本尊： 十一面千手千眼観世音菩薩
- (4) 西国三十三ヶ所： 第十六番
- (5) 御詠歌： 松風や 音羽の滝の 清水を むすぶ心は 涼しかるらん
- (6) 参拝日： 2017年11月3日



参道は人、人、人

(7) 写真：



仁王門



本堂の大舞台は工事中



早い紅葉はもう染まって



音羽の滝も長蛇の列



でも自然は美しい  
これからどんどん人が増える

(8) 付記：

- やはり清水は別格。いつ来ても大寺の迫力と厳かさ。
- 大舞台の大工事進行中。それでも、それだから人は集まる。
- ここの秋の紅葉は目を見張る。既に木によっては、黄色や紅に。
- もう何度訪れたらだろうか。そのたびに歴史を想う。

## 15. 第十七番 六波羅蜜寺 (ろくはらみつじ)

- (1) 住所： 京都府京都市東山区松原通大和大路東入ル2丁目轆轤町
- (2) 真言宗智山派 補陀洛山 六波羅蜜寺
- (3) 本尊： 十一面観世音菩薩
- (4) 西国三十三ヶ所： 第十七番
- (5) 御詠歌： 重くとも 五つの罪は よもあらじ 六波羅堂へ 参る身なれば
- (6) 参拝日： 2017年11月3日
- (7) 写真：



正面外から



秋の蒼空に薨が映える



入り口には観音様



平清盛像が有名。塚もある。



本堂

(8) 付記：

- 宝物館の空也上人立像と平清盛座像が有名。もう一つの運慶の地藏菩薩は東京に出張中。
- 口から六体の仏を出している空也像は印象深い。こんな像を創ろうと思った人がいたことも。
- 鴨川の東山側の川沿い。多くの歴史や、歴史物語に登場する寺。周りの大寺に比べれば小さな寺。
- 以前はひっそりしていたようだが、今は清水寺の混雑が流れてくる。文句は言えないけれど。

### 14. 第十八番 六角堂 頂法寺 (ろっかくどうちょうほうじ)

- (1) 住所： 京都市中京区六角通東洞院西入堂之前町 248
- (2) 天台系単立 紫雲山 六角堂 頂法寺
- (3) 本尊： 如意輪観世音菩薩
- (4) 西国三十三ヶ所： 第十八番
- (5) 御詠歌： わが思う 心のうちは 六の角 ただ円かれと 祈るなりけり
- (6) 参拝日： 2017年11月3日
- (7) 写真：



正門



本堂内部



小さな庭の十六羅漢



可愛らしいお地藏さんがいっぱい



隣のビルから本堂六角屋根

(8) 付記：

- 京都の街中。烏丸御池に近い。以前きた覚えあり。
- 孫娘の七五三祝いに。久しぶりの京都。ついでに巡礼。

- 聖徳太子の開基。可愛くておしゃれな感じがある。
- 秋の好天。でも3連休初日。人出は多い。

### 13. 第三十三番 華嚴寺 (けごんじ)

- (1) 住所： 岐阜県揖斐郡揖斐川町谷汲徳積 23
- (2) 天台宗 谷汲山 華嚴寺
- (3) 本尊： 十一面観世音菩薩
- (4) 西国三十三ヶ所： 第三十三番
- (5) 御詠歌： 世を照らす 仏のしるし ありければ まだともしびも 消えぬなりけり (現在)  
万世の 願いをここに 納めおく 水は苔より 出る谷汲 (過去)  
今までは 親と頼みし 笈摺(あづり)を 脱ぎ納むる 美濃の谷汲 (未来)
- (6) 参拝日： 2017年10月28日
- (7) 写真：



堂々たる山門



本堂への石段



本堂 内陣



先週の台風で大木がなぎ倒されて

#### 三十三か所巡り 満願所



満願堂

- (8) 付記：
  - 三十三か所あがり (満願) の寺。立派な境内、伽藍。
  - 2週続けて台風。雨なのになかなりの参拝客。紅葉の季節はかなりの混雑とか。
  - 先週の台風で本堂脇の大木が倒れていた。自然はどう宗教と折り合いをつけるのか、などと。
  - この観音巡りはなかなか進まない。でも、ゆっくり、ゆったり。

## 1 2. 第二十番 善峯寺 (よしみねでら)

- (1) 住所： 京都市西京区大原野小塩町 1372
- (2) 天台宗単立 西山 善峯寺
- (3) 本尊： 千手観世音菩薩
- (4) 西国三十三ヶ所： 第二十番
- (5) 御詠歌： 野をもすぎ 山路にむかふ 雨の空 善峯よりも 晴るる夕立
- (6) 参拝日： 2017年7月29日
- (7) 写真：



重厚な山門が迎える



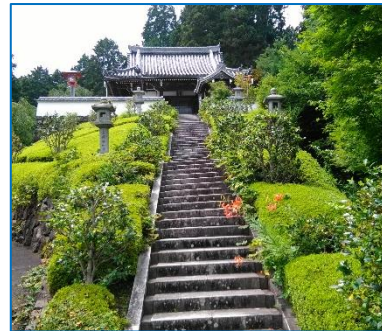
本堂（観音堂）



遊龍の松（樹齢600年以上）



多宝塔



最も上には薬師堂

- (8) 付記：
  - 京都でも西。思った以上の山の中。バスは一時間に1本のみ。
  - 山の中腹、京都市内の眺望が良い。山が寺。
  - 江戸時代綱吉の生母桂昌院がサポート。多くの寄進がなされた。
  - 四国出張の帰りに立ち寄る。暑くて汗ビッショリ。時々参拝客が。静かに歩く。
  - ベストシーズンは桜と紅葉とか。でも緑も美しい。

## 1 1. 第二十五番 播州清水寺 (ばんしゅうきよみずでら)

- (1) 住所： 兵庫県加東市平木 1194
- (2) 天台宗 御嶽山 清水寺
- (3) 本尊： 十一面千手観世音菩薩
- (4) 西国三十三ヶ所： 第二十五番
- (5) 御詠歌： あはれみや 普き門の 品々に なにをかなみの ここに清水
- (6) 参拝日： 2017年4月1日

(7) 写真：



仁王門



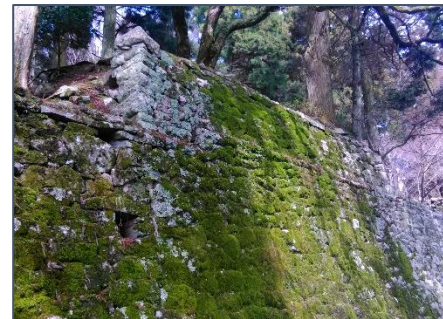
大講堂



講堂では法要の最中 読経が快い



根本中堂



城の様な苔むした石垣

大講堂から根本中堂への石段

(8) 付記：

- 天台宗の大寺。境内も広く多くの伽藍が。何の法事か多くの僧侶が読経中。静かな山に響く。
- JR 福知山線相野駅からバス約 50 分。一日 2 本しかない。
- 三田市から加東市へ。途中には立杭焼の里、温泉も。山の中。
- 何度か計画してやっと行けた。

## 10. 第二十四番 中山寺 (なかやまでら)

- (1) 住所： 兵庫県宝塚市中山寺 2 丁目 11-1
- (2) 真言宗中山寺派 大本山 紫雲山 中山寺
- (3) 本尊： 十一面観世音菩薩
- (4) 西国三十三ヶ所： 第二十四番
- (5) 御詠歌： 野をもすぎ 里をもゆきて 中山の 寺へ参るは 後の世のため
- (6) 参拝日： 2016 年 11 月 26 日 参道の皇帝ダリア
- (7) 写真：





山門



本堂



完成真近・五重塔



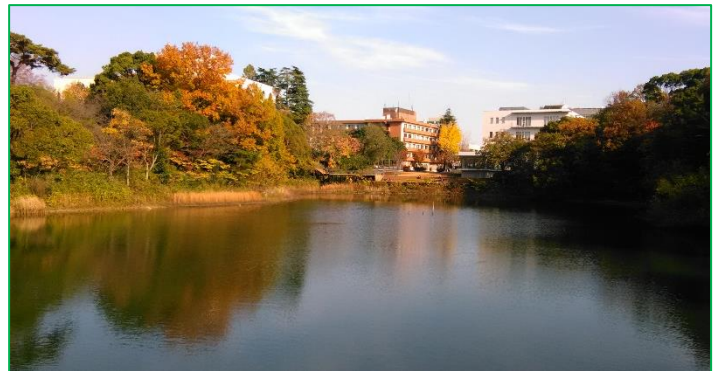
多宝塔（七五三参り沢山）



中山寺古墳

(8) 付記：

- － 懐かしき宝塚線。でも初めて。
- － 七五三で賑やか、心騒ぐ。
- － 安産祈願でも有名。
- － 新築五重塔、これも美しい。
- － 播州清水寺、行けず。代わりに母校を散歩。



何年振りか帰途、母校に立ち寄る

9. 第二十二番 総持寺（そうじじ）

- (1) 住所： 大阪府茨木市総持寺 1-6-1
- (2) 高野山真言宗 補陀洛山 総持寺
- (3) 本尊： 千手観世音菩薩
- (4) 西国三十三ヶ所： 第二十二番
- (5) 御詠歌： おしなべて 老いも若きも 総持寺の ほとけの誓い 頼まぬはなし
- (6) 参拝日： 2016年10月29日

(7) 写真：



山門



山門から本堂



本尊は亀に乗る。池のお堂も。



本堂



池には沢山の亀



包丁道の祖

(8) 付記：

- ここは街の中。阪急京都線の総持寺駅。静かな街の中にどっしり。
- 亀の話や、包丁の話など、生活感のある話も。「大阪的」と言えるかどうか。空海は幅が広い。
- 電車と歩きでは、2寺巡りが精一杯。でも散歩だと思えば、心休まる。

## 8. 第二十三番 勝尾寺 (かつおじ)

- (1) 住所： 大阪府箕面市勝尾寺
- (2) 真言宗 応頂山 勝尾寺
- (3) 本尊： 十一面千手観世音菩薩
- (4) 西国三十三ヶ所： 第二十三番
- (5) 御詠歌： 重くとも 罪には法の 勝尾寺 ほとけを頼む 身こそやすけれ
- (6) 参拝日： 2016年10月29日



(7) 写真：



山門



弁天池



「勝ダルマ」の寺  
至る所にダルマ



本堂（薬師堂）



多宝塔

(8) 付記：

- 北千里からバス、大阪の真北、箕面国定公園の中の山寺。突然開けて大寺が。
- 「勝ち運」信仰の歴史、勝ちダルマがあふれる。現世ご利益、これも仏教。
- 好天に恵まれてのんびり。心地よい散歩。
- 隣に大型の墓地。関西ではあこがれの墓地？

## 7. 第二十六番 一乗寺 (いちじょうじ)

- (1) 住所： 兵庫県加西市坂本町 821-17
- (2) 天台宗 法華山 一乗寺
- (3) 本尊： 聖観世音菩薩
- (4) 西国三十三ヶ所： 第二十六番
- (5) 御詠歌： 春は花 夏は橘 秋は菊 いつも妙なる 法の華山
- (6) 参拝日： 2016年9月3日
- (7) 写真：



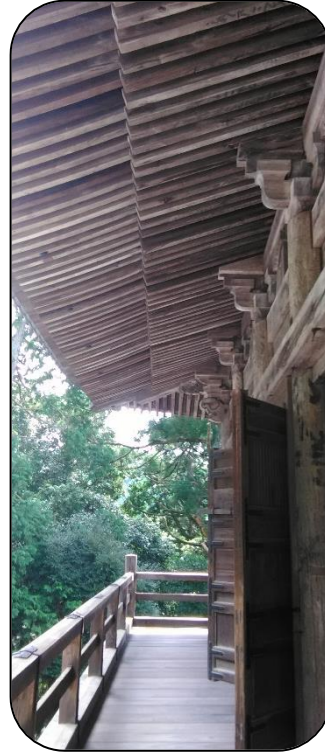
正面 162 段の石段を登って



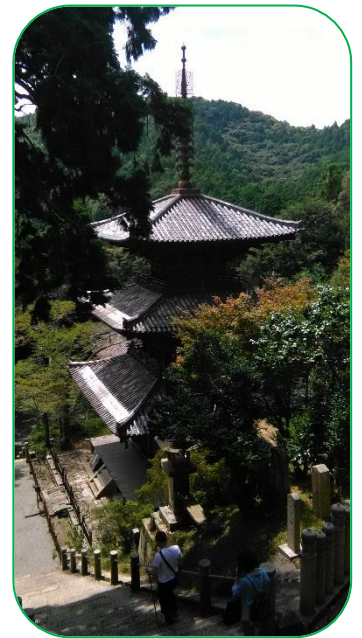
三重塔前から本堂を見上げる



ひっそりと、でも重厚な本堂 (裏から)



本堂回廊の重厚感



国宝三重塔



本堂正面

## (8) 付記：

- 四国からの帰途立ち寄る。意外に遠い。加古川回りで到着。姫路からのバスで大丈夫だった。
- 山の中の重厚な寺。国宝三重塔が美しい。紅葉の季節がベストだろう。
- 姫路は天台宗が強いのか。二寺ともに比叡山風。

- 準備を怠って、宝物館拝観の予約をしていなかった。多彩な像があったようだが。
- 9月と言うのにまだ汗たっぷり。帰りのバスの揺れが心地よかった。

## 6. 第二十七番 圓教寺 (えんきょうじ)

- (1) 住所： 兵庫県姫路市書写 2968
- (2) 天台宗 書写山 圓教寺
- (3) 本尊： 六臂如意輪観世音菩薩
- (4) 西国三十三ヶ所： 第二十七番
- (5) 御詠歌： はるばると のぼれば書寫の 山おろし 松のひびきも 御法なるらん
- (6) 参拝日： 2016年7月9日
- (7) 写真：



仁王門



書写山ロープウェイ



摩尼殿への石段



摩尼殿

- (8) 付記：
- 雨の書写山、思った以上の山の中の大伽藍
- 書写山そのものが圓教寺
- 札所は摩尼殿、如意輪観音も。
- 道場はもっと奥の「三つの堂」
- 大講堂を始め三つの堂は撮影場所としても有名。
- 降りたら雨も止んで青空も、姫路城にも。



大講堂

## 5. 第九番 南円堂 (なんえんどう)

- (1) 住所： 奈良市登大路町 48
- (2) 法相宗大本山 興福寺 南円堂
- (3) 本尊： 不空縹索観世音菩薩像
- (4) 西国三十三ヶ所： 第九番
- (5) 御詠歌： 春の日は 南円堂に かがやきて 三笠の山に 晴るるうす雲
- (6) 参拝日： 2016年6月5日
- (7) 写真：



正面には興福寺五重塔



南円堂



南円堂正面



近くには猿沢の池

- (8) 付記：
  - － 興福寺の境内。近くには五重塔、国宝館等々。
  - － 日本最大の八角堂、建物自体が美しい。
  - － 梅雨前の日曜、驚くほどの観光客、外国人の方が多いかも。
  - － 古寺仏像に目覚めた頃、興福寺、東大寺周辺は良く歩いた。「一人の奈良」なんて粋がって・・・
  - － 西国三十三ヶ所の選択基準が良く分からない。奈良には多くの寺、観音様がいるのに。これで終わり。

## 4. 番外 法起院 (ほうきいん)

- (1) 住所： 奈良県桜井市初瀬 776 番地
- (2) 真言宗豊山派 総本山長谷寺塔頭開山堂 法起院
- (3) 本尊： 徳道上人像
- (4) 西国三十三ヶ所： 番外
- (5) 御詠歌： 極楽は よそにはあらじ わがこころ おなじ蓮 (はちす) の へだてやはある

(6) 参拝日： 2016年6月5日

(7) 写真：



参道と正門



本堂



十三重石塔（廟）

(8) 付記：

- 西国三十三か所巡礼を始めたと言われる徳道上人を本尊とする。
- 長谷寺参道近くで見落としそうな場所。実際、長谷寺には何度も訪れたがここは初めて。
- 納経帳にもちゃんと番外として載っている。

### 3. 第八番 長谷寺（はせでら）

(1) 住所： 奈良県桜井市初瀬 731-1

(2) 真言宗豊山派（総本山） 豊山 長谷寺

(3) 本尊： 十一面観世音菩薩

(4) 西国三十三ヶ所： 第八番

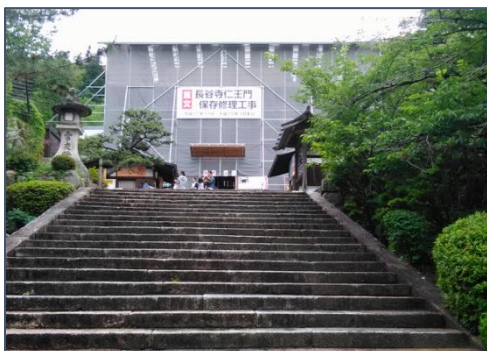
(5) 御詠歌： いくたびも 参る心は はつせ寺 山もちかいも 深き谷川

(6) 参拝日： 2016年6月5日

(7) 写真：



「あじさい寺」盛り近し



仁王門は保存修理中



長谷寺と言えば「登廊」



本堂・内舞台正面

(8) 付記：

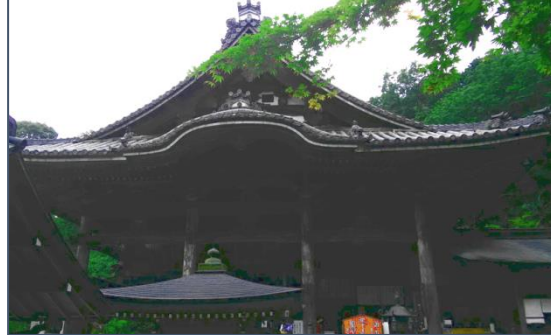
- この間、「百寺巡礼」でお参りしたと思ったけれど、それでも昨年末。時の経過の速さを思い知る。
- 今回も、長谷寺観音特別拝観中。大きな像の足元で祈った。まずは健康で生きること。
- 「花の寺」と言われる。ボタンが終わって、次は紫陽花。癒される。
- 本堂前の舞台から初瀬の山々を眺める。じっと、時を楽しむ。

## 2. 第七番 岡寺（おかでら）

- (1) 住所： 奈良県高市郡明日香村岡 806
- (2) 真言宗豊山派 東光山 岡寺（龍蓋寺）
- (3) 本尊： 如意輪観世音菩薩
- (4) 西国三十三ヶ所： 第七番
- (5) 御詠歌： けさ見れば つゆ岡寺の 庭の苔 さながら瑠璃の 光なりけり
- (6) 参拝日： 2016年6月4日
- (7) 写真：



仁王門



本堂



三重宝塔

- (8) 付記：
  - － 本尊の如意輪観音は、日本最大・最古の塑像。インド・中国を思わせる。
  - － 如意輪は願い事を思うように叶える。そこから厄落としの寺。
  - － 何十年前か、飛鳥（明日香）歩きをした時に立ち寄った。青春時代。
  - － 近くに「犬養孝」先生の記念館もある。「万葉の里」の寺。

## 1. 第六番 南法華寺 (みなみほっけじ)

- (1) 住所： 奈良県高市郡高取町壺阪3番地
- (2) 真言宗 壺阪山 南法華寺 (壺阪寺)
- (3) 本尊： 十一面千手千眼観世音菩薩
- (4) 西国三十三ヶ所： 第六番
- (5) 御詠歌： 岩をたて 水をたたえて 壺阪の 庭にいさごも 浄土なるらん
- (6) 参拝日： 2016年6月4日
- (7) 写真：



三重塔



本尊十一面千手千眼観世音菩薩



礼堂



大観音石像

- (8) 付記：
  - 西国三十三ヶ所観音菩薩巡りを始めた。四国と同じで、思いつきスタート。
  - 仏教宗派には関係なく（とは言っても真言宗主体だが）、観世音菩薩巡りとなっている。
  - まずは壺阪霊験記で有名な壺阪寺、南法華寺が正式。近鉄南大阪線で飛鳥の次。かなり山の中。
  - 本尊は十一面千手千眼観音、眼病に霊験あらたかとか。